



平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月23日

上場取引所 東

上場会社名 BEENOS株式会社

コード番号 3328 URL <http://www.beenos.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼グループCEO (氏名) 直井 聖太

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長兼グループCFO (氏名) 中村 浩二

TEL 03-5739-3350

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の連結業績(平成26年10月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	12,666	38.5	1,053	—	1,033	—	864	—
26年9月期第3四半期	9,147	17.2	△283	—	△255	—	△267	—

(注) 包括利益 27年9月期第3四半期 1,048百万円 (—%) 26年9月期第3四半期 △277百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年9月期第3四半期	71.07	70.49
26年9月期第3四半期	△22.63	—

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年9月期第3四半期	9,187	5,708	59.9	451.99
26年9月期	7,706	4,557	57.5	365.15

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 5,506百万円 26年9月期 4,434百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 27年9月期の配当予想額につきましては、未定であります。

3. 平成27年9月期の連結業績予想(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,400	38.1	800	—	770	—	550	—	45.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年9月期3Q	12,266,600 株	26年9月期	12,266,600 株
② 期末自己株式数	27年9月期3Q	83,339 株	26年9月期	122,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年9月期3Q	12,162,026 株	26年9月期3Q	11,837,895 株

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、今期の成長戦略として「クロスボーダー事業で圧倒的No. 1」を掲げ、昨年10月に商号をBEENOS株式会社に変更し、昨年12月には代表取締役の交代により新経営体制を発足させ、①クロスボーダー部門の海外転送・代理購入事業の流通総額の増大による圧倒的No. 1の地位の確立、②バリューサイクル部門のネット宅配買取分野における圧倒的No. 1の地位の確立と海外販路の強化、③リテール・ライセンス部門のオリジナル商品・自社ライセンス商品の強化と海外販路の構築を行っていく方針を立て、取り組みを進めております。また、インキュベーション事業においては、新興国を中心とした投資先の事業成長のサポートを進めております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,666,833千円（前年同期比38.5%増）、営業利益は1,053,488千円（前年同期は営業損失283,209千円）、経常利益は1,033,679千円（前年同期は経常損失255,068千円）、四半期純利益は864,402千円（前年同期は四半期純損失267,896千円）となりました。

なお、第2四半期に、当社の連結子会社である株式会社デファクトスタンダードの第三者割当増資による持分変動利益226,938千円を特別利益に、また、クロスボーダー部門の「グローバルショッピング事業（TO JAPAN）」の減損損失147,707千円を特別損失に計上しております。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりであります。

①Eコマース事業

クロスボーダー部門の「海外転送・代理購入事業（FROM JAPAN）」におきましては、訪日外国人の増加や円安による追い風を背景としたインバウンド消費の増加に呼応し、オンラインでも日本の安心・安全でクオリティの高い商品に対する需要がさらに高まっております。当事業では、国内ECサイト及びリアル店舗との積極的な提携を進め、新たに船便やSAL便の導入による配送手段の多様化、手数料体系の見直しを図るなどサービスレベルの向上に努めた結果、利用者数、流通総額、売上高ともに好調に増加しております

「グローバルショッピング事業（TO JAPAN）」におきましては、円安傾向の一段の進展によって海外商品の購入マインドが低調に推移する中、サイトのリニューアルやカスタマーサポートの強化、スマートフォンのユーザーインターフェイスの改善等により売上の維持に努めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,239,290千円（前年同期比74.1%増）、営業利益は288,188千円（前年同期比762.7%増）となりました。

バリューサイクル部門におきましては、ブランド品買取サービス「ブランディア」のさらなる認知度向上と買取増を目的として、大規模なテレビコマーシャルを実施したことにより、買取件数、買取金額が好調に増加しており、四半期での買取金額の過去最高金額を更新しました。また、売上也順調に拡大しており、販売チャネルのひとつである「ヤフオク！」では、年間ベストストア総合グランプリを6年連続で受賞いたしました。また、本年2月に事業規模の拡大とグローバル展開を目的として伊藤忠商事株式会社と資本業務提携を行い、5月には今後の取扱量の増加への対応と業務のより一層の効率化を目的として本社および倉庫の移転を行いました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,285,374千円（前年同期比44.6%増）、営業利益は61,818千円（前年同期比5.5%増）となりました。

リテール・ライセンス部門の「商品プロデュース・ライセンス事業」におきましては、人気アイドルグループの公式グッズの企画開発の強化や取扱ジャンルの拡大等によって売上、利益ともに順調に推移しました。また、マスターライセンスを保有するアーティストのさらなる認知向上のため、公式ECショップの開設や催事会場による拡販を実施しました。

「ネットショッピング事業」におきましては、プロモーションにより新規顧客を獲得する一方で休眠顧客の掘り起こし施策や、リピート率向上を目的としたVIP会員制度の刷新により購入者数が順調に推移しました。また、美容・ファッションカテゴリーを中心としたオリジナル商品の販売が好調に推移したことによる粗利益率の改善や、前年に実施したスマートフォン集中戦略によるコストの見直しによって販管費が減少したこともあり、利益面でも好調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,118,160千円（前年同期比7.1%減）、営業利益は163,935千円（前年同期は営業損失75,072千円）となりました。

Eコマース事業全体では、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,642,825千円（前年同期比29.5%増）、営業利益は513,942千円（前年同期は営業利益16,954千円）となりました。

②インキュベーション事業

「投資育成事業」におきましては、新興国を中心とした投資先の資金調達やノウハウの提供などによる事業成長のサポートを進めると同時に、新規の投資も進めております。また、一部の投資先においては、資金調達サポートを行う一方で、新規出資者に対して当社が保有する株式の一部を譲渡することにより投資回収を行いました。

「収益化前の新規事業」におきましては、第1四半期に、不採算事業であったスマートフォンアプリの「知育コンテンツ配信事業」を売却することにより当該事業から撤退し、また、その他新規事業開発を進めていたスマートフォンアプリ関連の2事業をスピノフさせました。

以上の結果、当第3四半期連結累計年度の売上高は1,024,008千円（前年同期比548.3%増）、営業利益は819,786千円（前年同期は営業損失160,490千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(i) 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は9,187,574千円となり、前連結会計年度末と比べ1,481,314千円の増加となりました。

内訳といたしましては、流動資産合計が8,117,576千円となり、前連結会計年度末と比べ1,425,478千円の増加となりました。その主な要因は、現金及び預金795,385千円、商品345,818千円、営業投資有価証券229,813千円の増加であります。

また、固定資産合計は、1,069,997千円となり、前連結会計年度末と比べ55,836千円の増加となりました。その主な要因は、増加要因として、建物及び構築物133,256千円、関係会社株式47,090千円の増加、減少要因として、のれん37,020千円、無形固定資産その他に含まれるソフトウェア76,122千円の減少であります。

(ii) 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は3,478,591千円となり、前連結会計年度末と比べ330,328千円の増加となりました。

内訳といたしましては、流動負債合計が3,336,591千円となり、前連結会計年度と比べ257,725千円の増加となりました。その主な要因は、短期借入金71,521千円、賞与引当金68,913千円、支払手形及び買掛金60,428千円の増加であります。

また、固定負債合計は、142,000千円となり、前連結会計年度と比べ72,603千円の増加となりました。その主な要因は、資産除去債務83,944千円の増加であります。

(iii) 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は5,708,982千円となり、前連結会計年度末と比べ1,150,986千円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金863,294千円、為替換算調整勘定144,449千円、少数株主持分85,425千円の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期の通期の連結業績予想につきましては、平成27年4月23日に発表致しました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,457,537	3,252,922
受取手形及び売掛金	525,684	622,783
営業投資有価証券	1,563,638	1,793,451
商品	844,249	1,190,068
繰延税金資産	35,824	44,010
未収入金	674,389	496,147
その他	604,934	725,836
貸倒引当金	△14,159	△7,643
流動資産合計	6,692,098	8,117,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	216,007	291,688
減価償却累計額	△164,878	△107,301
建物及び構築物(純額)	51,129	184,387
工具、器具及び備品	258,955	251,566
減価償却累計額	△238,013	△225,197
工具、器具及び備品(純額)	20,942	26,368
有形固定資産合計	72,071	210,756
無形固定資産		
のれん	133,845	96,824
その他	147,822	71,249
無形固定資産合計	281,667	168,073
投資その他の資産		
投資有価証券	227,255	202,992
関係会社株式	21,786	68,876
繰延税金資産	14,018	13,539
その他	398,236	406,633
貸倒引当金	△875	△875
投資その他の資産合計	660,422	691,167
固定資産合計	1,014,161	1,069,997
資産合計	7,706,259	9,187,574

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	301,802	362,231
短期借入金	1,004,704	1,076,225
1年内返済予定の長期借入金	20,000	20,000
未払法人税等	95,424	136,273
繰延税金負債	26,170	42,186
賞与引当金	18,800	87,713
役員賞与引当金	—	34,456
ポイント引当金	8,088	6,254
未払金	1,073,208	1,118,644
その他	530,666	452,606
流動負債合計	3,078,866	3,336,591
固定負債		
長期借入金	10,000	—
繰延税金負債	6,473	5,177
資産除去債務	52,878	136,823
その他	45	—
固定負債合計	69,397	142,000
負債合計	3,148,263	3,478,591
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,725,977	2,725,977
資本剰余金	2,497,114	2,472,725
利益剰余金	△882,755	△19,461
自己株式	△175,031	△118,835
株主資本合計	4,165,305	5,060,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,194	67,082
為替換算調整勘定	234,755	379,204
その他の包括利益累計額合計	268,949	446,287
新株予約権	25,313	18,435
少数株主持分	98,427	183,853
純資産合計	4,557,995	5,708,982
負債純資産合計	7,706,259	9,187,574

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	9,147,804	12,666,833
売上原価	4,757,727	5,847,410
売上総利益	4,390,076	6,819,423
販売費及び一般管理費	4,673,285	5,765,934
営業利益又は営業損失(△)	△283,209	1,053,488
営業外収益		
受取利息	210	223
受取配当金	15,455	—
持分法による投資利益	2,272	—
投資事業組合運用益	16,136	3,656
その他	7,739	3,835
営業外収益合計	41,815	7,715
営業外費用		
支払利息	10,719	5,621
為替差損	160	18,863
株式交付費	710	1,672
持分法による投資損失	—	353
その他	2,085	1,014
営業外費用合計	13,674	27,524
経常利益又は経常損失(△)	△255,068	1,033,679
特別利益		
持分変動利益	—	226,938
関係会社株式売却益	181,224	—
ポイント引当金戻入額	3,360	—
新株予約権戻入益	—	25,730
特別利益合計	184,585	252,669
特別損失		
関係会社株式売却損	—	580
事務所移転費用	—	10,344
減損損失	73,774	147,708
特別損失合計	73,774	158,633
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△144,257	1,127,714
法人税、住民税及び事業税	87,213	264,629
法人税等調整額	18,843	△8,073
法人税等合計	106,057	256,556
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△250,314	871,158
少数株主利益	17,582	6,755
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△267,896	864,402

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△250,314	871,158
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46,394	32,888
為替換算調整勘定	19,335	139,493
持分法適用会社に対する持分相当額	-	4,955
その他の包括利益合計	△27,059	177,337
四半期包括利益	△277,373	1,048,495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△294,955	1,041,740
少数株主に係る四半期包括利益	17,582	6,755

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	合計		
	クロス ボーダー 部門	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,286,318	4,347,860	3,357,712	8,991,891	155,912	9,147,804	-	9,147,804
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	83	83	2,050	2,133	△2,133	-
計	1,286,318	4,347,860	3,357,796	8,991,975	157,962	9,149,937	△2,133	9,147,804
セグメント利益 又は損失(△)	33,404	58,622	△75,072	16,954	△160,490	△143,536	△139,673	△283,209

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△139,673千円には、セグメント間取引の消去4,861千円、各報告セグメントに配分していない全社収益189,084千円及び全社費用△333,619千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	Eコマース事業				インキュ ベーション 事業	合計		
	クロス ボーダー 部門	バリュー サイクル 部門	リテール・ ライセンス 部門	小計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,239,290	6,285,374	3,118,160	11,642,825	1,024,008	12,666,833	-	12,666,833
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-	-	-	-
計	2,239,290	6,285,374	3,118,160	11,642,825	1,024,008	12,666,833	-	12,666,833
セグメント利益	288,188	61,818	163,935	513,942	819,786	1,333,729	△280,240	1,053,488

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△280,240千円には、セグメント間取引の消去△14,377千円、各報告セグメントに配分していない全社収益197,532千円及び全社費用△463,395千円が含まれております。全社収益は、主に当社におけるグループ会社からの受取手数料であります。全社費用は、主に当社におけるグループ管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。